

テーマ

有機肥料の再生拠点と消費拠点とのジョイントを核とした新たなビジネスモデルの本格的展開

千葉県クレーン建設重機協同組合 組合員企業

株式会社 弘東

本会では、「中小企業新事業活動促進法」に基づく中小企業者の「経営革新」への取り組みを支援しています。

このコーナーでは、本会の会員組合の中から、自社の創意と熱意が込められた「経営革新計画」の策定にチャレンジし、千葉県知事から承認された企業をご紹介します。

経営革新計画とは？

「経営革新計画」とは、「中小企業新事業活動促進法」に基づき、中小企業者が作成する、新商品の開発や新たなサービス展開などの取り組みと具体的な数値目標を含んだ3年から5年の「ビジネスプラン」のことで、計画を千葉県に申請して承認を受けると、政府系金融機関の低利融資、信用保証の特例、課税の特例等の支援措置の対象となります。

申請のこだわりは？

当社は、建設重機作業、貨物運送等を展開してきた創業40年の会社です。循環型社会形成に関する社会的要請に応えるべく、食品関

連事業者向けに生ごみ処理機等の販売及びメンテナンス事業にも注力しています。

食品関連事業者においては、食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律（食品リサイクル法）の施行を受け、食品廃棄物を有機肥料等として再生する取り組み「食品リサイクル」が徐々に進行しています。しかし、個々の食品関連事業者は自ら再生した有機肥料の販路を有していないこと等が、食品リサイクル普及における一つのマイナスイタ素となっています。そのため、今回の経営革新計画の立案と申請に至りました。

テーマ及び内容は？

1. テーマ

「有機肥料の再生拠点と消費拠点とのジョイントを核とした新たなビジネスモデルの本格的展開」

2. 計画期間

▽平成22年11月～平成26年5月（4年計画）

3. 付加価値額の向上

▽計画時 90,231千円
▽計画終了時の目標伸び率24.4%

4. 内容

食品関連事業者と再生有機肥料の消費者である有機野菜栽培農家を結びつけることで食品関連事業者における食品リサイクルを推進し、これを当社の生ごみ処理機の販売及びメンテナンス事業の業績向上につなげます。

取り組みは？

地元飲食店等を対象にこのビジネスモデルによる生ごみ処理機の販売を試行したところ、8機の販売に成功したことから、今後は、この取り組みを本格的に展開していきます。新事業活動に要する人員は、社内配置転換で生み出す計画です。

有機野菜栽培農家の開拓、有機肥料運搬用として貨物車の増車、新しいビジネスモデルの従業員周知を進めるなどして新事業の実施体制を整備し、このビジネス



▲ 生ゴミ処理機

モデルを以って食品関連事業者へ生ごみ処理機の販売促進とメンテナンス契約の獲得を図ります。

成果は？

取引先リストを完備して、メンテナンス時期など適時にダイレクトメールを送送するなど顧客管理の徹底やアフターサービスの充実を通して、顧客満足度が向上しました。

今回の経営革新計画による事業実施経験を活かし、このビジネスモデルの全国展開を当社の長期的展望としてしているところです。

社長さんの一言

千葉県中小企業団体中央会様のご協力により、経営革新を取得したことにより今回弊社の計画では、4年間の中期計画を立案したため、経営目標が明確になりました。また、計画が目に見えるものとなるために経営方針が全社員に浸透し、モチベーションアップにつながりつつあると思います。その他、対外信用度、認知度がアップしました。

今回の経営革新の経営計画の実現に向け社員共々頑張っていく所存です。

中央会から

【経営革新計画策定の流れ（支援の流れ）】

①現在の経営を見直し、新たに挑戦するテ

マを検討する（企業が抱える問題、課題を解決するための創意あるアイデアを抽出する。差別化要因、革新性を見出す。）

②組合員企業の新たな取り組みについての事業計画を、中小企業新事業活動促進法に基づく「経営革新計画に係る承認申請書」という形に落とし込み、作成していく（アイデアの実現（による経営力の向上）に向けた具体的な行動計画をプランニングする。）

【経営革新によるメリット】

★己を知る（現在の経営を見直す好機になる。そして、従来のやり方で継続するだけではなく、新たな切り口を探し始める。）

★新規事業をスタートするきっかけになる（成長へのトリガーとして、支援策を活用することが出来る。）

★中小企業新事業活動促進法に基づく支援策を活用しやすくなる（低利融資などの施策）

★経営革新計画（ビジネスプラン）に対し、千葉県からのお墨付きがもらえる（貴社の信頼性やブランド力向上につながる。また、競合他社による製品（商品）・サービスの模倣をけん制、或いは、その優位性をPRすることが出来る。）

★計画経営が出来るようになり、業績がアップする（いわゆる経営のPDCAを実直に回し続けることで、効率よく改善を繰り返すことが出来る。）

★後継者や人材の育成が出来る

経営者の仕事は、経営革新への取り組みを発想することと言っても過言ではありません。

経営革新計画（ビジネスプラン）の策定過程では、今までの経営を見直し、将来の方向性を具体的に数値化していきます。経営者として、「これまで」や「今」を正しく知り、「これから」を見通すことで、自分がいま何をすべきなのか、どこにいいのかが明確になり、攻めの経営に転じる上で障害となっていた漠然とした迷いが吹っ切れるはずですよ。

経営革新についてのサポートは、中央会にお任せ下さい。本会が組合員企業に直接訪問し、企業の経営革新を支援します。

◎経営革新計画の承認に係る相談は、随時行っております。本会経営支援部までお気軽にお問合せ下さい。（043-306-3282）



企業プロフィール

組合名：千葉県クレーン建設重機協同組合
企業名：株式会社 弘東
代表者：佐藤 浩昭
所在地：千葉県稲毛区山王町352-12
電話番号：043-423-6900
資本金：10,000千円
従業員数：39名
業種：一般貨物自動車運送業
E-mail：h.s@kouto.jp
URL：http://www.kouto.jp/
承認年月日：平成22年10月29日
支援機関：千葉県中小企業団体中央会